

歳出総額 10%増 221 億 2,296 万円

平成27年度

決算 報告

平成 27 年度の市の一般会計および特別会計の決算を報告します。また、同年度に行われた事業の中から主なものを紹介します。

一般会計

歳入総額 232 億 4,589 万円

歳出総額 221 億 2,296 万円

財政課

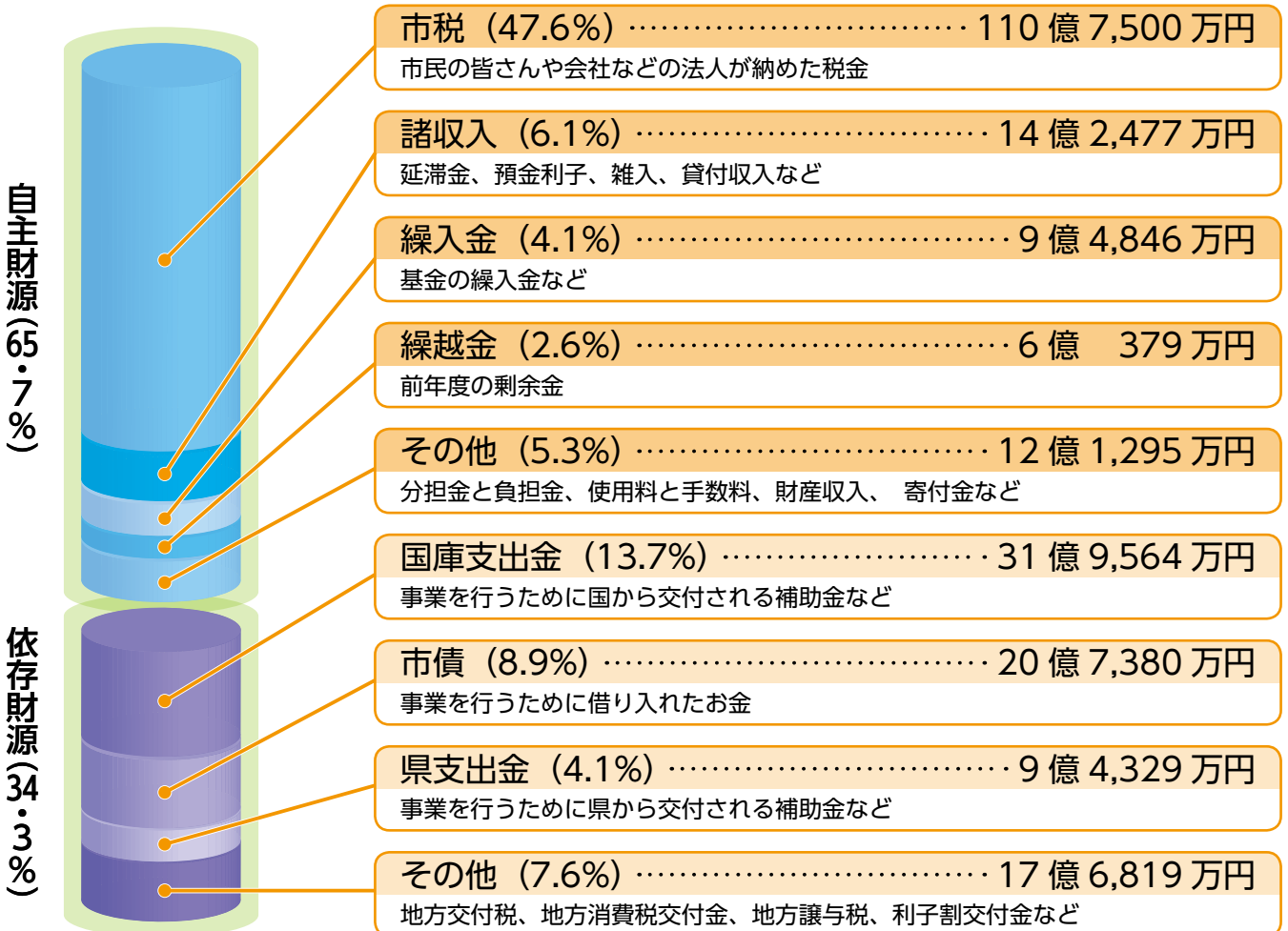
☎995-1801



認証保育施設



市民体育館リニューアル



自主財源 (65.7%)

依存財源 (34.3%)

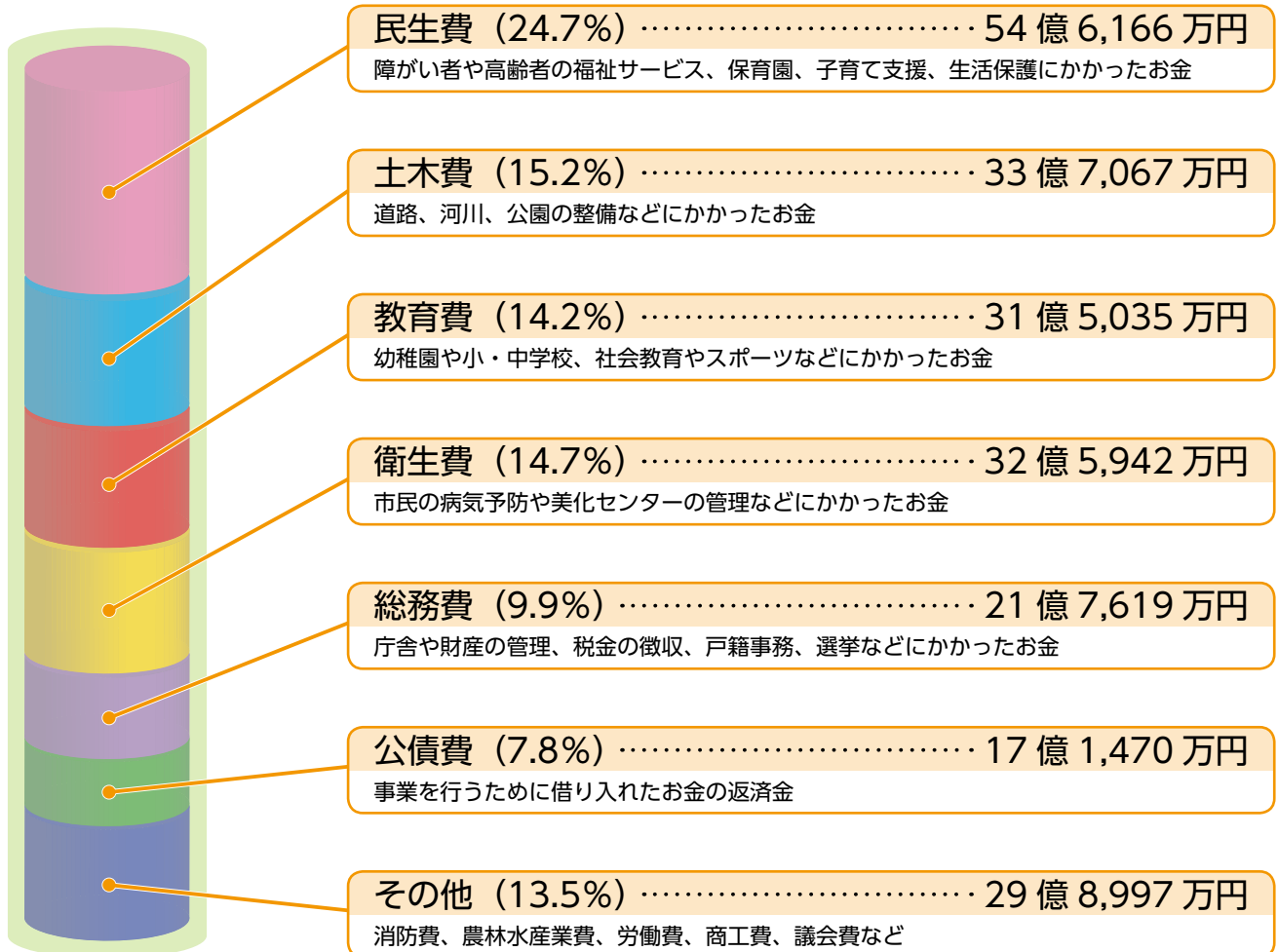
平成 27 年度 決算報告

歳入・歳出の概要

歳入決算額は、対前年比 10.4%の増、21 億 9,741 万円の増となりました。主な増額要因は、国庫支出金が地方創生関連事業や、市民体育館リニューアル事業などに伴う防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金などの増によって 5 億 3,471 万円の増、地方消費税交付金が 4 億 3,635 万円の増、繰入金で財政調整基金取崩しの増によって 2 億 2,015 万円の増、市債が最終処分場(第二期)整備事業の借入などで 4 億 4,500 万円の増となりました。主な減額要因は、税率改正などで法人市民税が 3 億 6,513 万円の減、不交付団体となったことに伴い地方交付税が 1 億 458 万円の減となりました。

歳出決算額は、対前年比 10%の増、20 億 827 万円の増となりました。主な増額要因は、土木費が裾野駅周辺整備費などで 8 億 4,217 万円の増、教育費が市民体育館リニューアル事業などで 6 億 4,398 万円の増、民生費が保育所運営関連事業費などで 5 億

6,793 万円の増となりました。主な減額要因は、諸支出金が都市施設建設基金積立金の減などによって 3 億 6,870 万円の減、公債費が元利償還金の減によって 2 億 323 万円の減となりました。



総合計画 6本の柱に基づく主要事業

平成27年度

主要事業



第4次市総合計画が目標とするまちの将来像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現を目指し、6つの柱に沿った事業を行いました。

1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

事業名	事業概要
ヘルシーパーク裾野管理事業	ヘルシーパーク裾野の管理運営
こども医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り小・中学生の健やかな成長に寄与するため医療費を助成
乳幼児医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り乳幼児の健やかな成長に寄与するため医療費を助成
スマホユーザーを含む、子育て支援情報の効果的な発信事業	子育て世代が必要な情報を配信できるアプリを開発
市認証保育施設支援事業	多様な保育環境の創出のため、認可施設（保育園・幼稚園）以外に、一定の基準を満たす子育て施設への助成制度を創設
子ども連れ親子交流促進事業	親子の交流や本に触れる機会の増加を推進するため、市立図書館に授乳施設などを整備

2. 成長するよこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」

事業名	事業概要
幼児を対象とした外国文化ふれあい事業	保育園・幼稚園に外国語指導助手（ALT）を派遣
東小学校耐震・大規模改修事業	耐震補強工事とともに施設の老朽化対策として補強棟の大規模な改修
学力向上ボランティア事業	自主的な学習を希望する児童生徒の指導のために、放課後や夏休みなどに学力向上ボランティアを配置
市民体育館改修事業	耐震補強と施設改修工事
運動公園スポーツイベント活性化事業	スポーツイベントを通じた交流人口の増加を推進するため、運動公園に授乳室などを整備

3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」

事業名	事業概要
住民票等コンビニ交付事業	マイナンバーカードを用いて住民票などをコンビニで取得できるサービスを実施
最終処分場（第二期）整備事業	最終処分場（第二期）の整備
防災体制整備事業	地域防災体制の整備など

4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」

事業名	事業概要
裾野駅西土地区画整理事業	裾野駅西土地区画整理事業の推進と整備
裾野駅バリアフリー化整備事業	裾野駅構内にエレベーターなどを整備しバリアフリー化を図るための工事に対して助成
宅地分譲促進事業	市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成
都市計画街路平松深良線整備事業	都市計画街路平松深良線の整備

平成 27 年度 主要事業

5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

事業名	事業概要
企業立地促進事業	企業が行う事業用地取得費と設備取得費などに対し助成
地域農業担い手支援事業	農業の担い手確保のため、設備投資や販路拡大の取り組みに対して助成
中小企業相談・支援事業	経営革新や事業拡大、起業を検討している事業者の支援

6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

事業名	事業概要
シティプロモーション推進事業	市の知名度・高感度のアップを図るため、マスコットキャラクターやフィルムコミッションなどの事業
新斎場基本計画策定事業	老朽化した斎場の更新に向け、長泉町と連携指摘本構想を策定

特別会計

●国民健康保険特別会計

歳入総額	59 億 4,476 万円
歳出総額	57 億 1,311 万円
繰り越すべき財源	
実質収支額	2 億 3,165 万円

●土地取得特別会計

歳入総額	21 万円
歳出総額	21 万円
繰り越すべき財源	
実質収支額	0 円

●墓地事業特別会計

歳入総額	5,299 万円
歳出総額	5,066 万円
繰り越すべき財源	
実質収支額	233 万円

●後期高齢者医療事業特別会計

歳入総額	4 億 4,653 万円
歳出総額	4 億 4,216 万円
繰り越すべき財源	
実質収支額	437 万円

●介護保険特別会計

歳入総額	30 億 5,421 万円
歳出総額	29 億 2,567 万円
繰り越すべき財源	
実質収支額	1 億 2,854 万円

●下水道事業特別会計

歳入総額	11 億 4,999 万円
歳出総額	11 億 4,929 万円
繰り越すべき財源	70 万円
実質収支額	0 円

●十里木高原簡易水道特別会計

歳入総額	5,366 万円
歳出総額	5,366 万円
繰り越すべき財源	
実質収支額	0 円

※水道事業会計は 9 ページに掲載しています。



下水道啓発キャンペーン

都市計画税の用途状況

都市計画税の決算額は 4 億 145 万円でした。都市計画税は、総合的なまちづくりを行うため、街路整備など都市計画事業に必要な費用の一部として活用されています。

●都市計画事業

事業別	事業費	構成比	財源内訳	
			特定財源(※)	一般財源
裾野駅周辺整備費	10 億 3,631 万円	43.4%	6 億 6,488 万円	3 億 7,143 万円
平松深良線街路費	2 億 4,441 万円	10.3%	2 億 175 万円	4,266 万円
都市計画事業公債費	1 億 7,217 万円	7.2%	0 円	1 億 7,217 万円
下水道事業特別会計	9 億 3,363 万円	39.1%	4 億 4,182 万円	4 億 9,181 万円
合計	23 億 8,652 万円	100%	13 億 845 万円	10 億 7,807 万円

※特定財源……国・県支出金、地方債、負担金、その他